



大田区シンボルマーク

大田区政に関する世論調査

平成30年7月実施
(概要版)

大田区では、区民の皆様のご意見を伺う方法の一つとして、昭和49年から「大田区政に関する世論調査」を実施しています。この小冊子は、その調査結果の概要をお知らせするものです。

調査にご協力いただいた皆様に心からお礼申し上げます。

平成30年12月

大田区 企画経営部 広聴広報課

■調査概要

対象者	区内に在住する満18歳以上の男女個人（外国人を含む）
対象数	2,000人
回収数	1,076人
回収率	53.8%
有効回収数	1,076人（電子申請での回答含む）
有効回収率	53.8%
抽出方法	層化無作為抽出法
調査方法	郵送調査（回収方法は郵送回収に加え、スマートフォンおよびパソコンを利用した電子申請からの回答も実施）

■グラフの見方

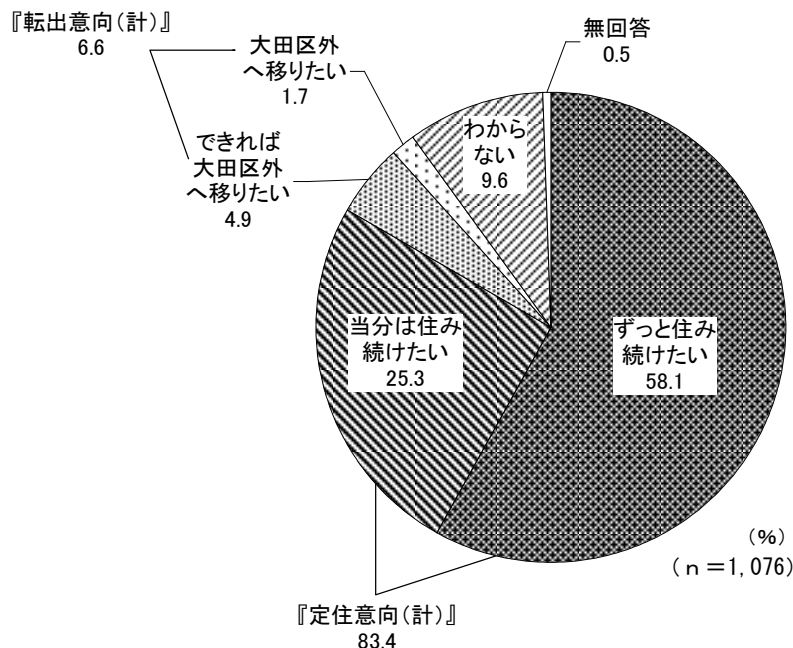
- ・nはその設問の回答者数を表す。
- ・集計は小数点以下第二位を四捨五入してあるので、合計が100%にならない場合がある。
- ・複数回答の場合は、合計が100%を越えることがある。

<p>1. 定住性</p> <p>(1) 居住開始時期</p> <p>★(2) 定住意向【P2】</p> <p>★(3) ずっと住みたい理由【P2】</p> <p>(4) 当分は住みたい期間</p> <p>★(5) 住んでいるまちが魅力的か【P3】</p> <p>2. 暮らしやすさ</p> <p>★(1) 生活環境の満足度【P4】</p> <p>★(2) 住んでいるまちの暮らしやすさ【P5】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>《基本目標1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち》</p> </div> <p>3. バリアフリー・ユニバーサルデザイン</p> <p>★(1) 「バリアフリー」、「ユニバーサルデザイン」の認知度【P5】</p> <p>★(2) 駅周辺のバリアフリー化【P6】</p> <p>4. 障がい者が地域で安心して暮らせるまち</p> <p>★(1) 「障害者差別解消法」の認知度【P6】</p> <p>5. スポーツを通じて健康で豊かに暮らせるまち</p> <p>★(1) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が身近になってきたと感じているか【P7】</p> <p>★(2) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて区に期待する取組【P7】</p> <p>★(3) この1年間の運動・スポーツ活動の頻度【P8】</p> <p>6. 安定した暮らしと人権</p> <p>★(1) 男女の地位平等【P8】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>《基本目標2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市》</p> </div> <p>7. 潤いとやすらぎのあるまち</p> <p>★(1) 身近な場所で水や緑に親しめると感じているか【P9】</p> <p>8. 世界へ羽ばたくまち</p> <p>★(1) 羽田空港及び羽田空港跡地の地域経済活性化への貢献度【P9】</p> <p>9. 未来につながる空港臨海部</p> <p>★(1) 空港臨海部が身近なまちとなってきているか【P10】</p>	<p>10. 国際交流</p> <p>★(1) 大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているか【P10】</p> <p>11. 大田区の観光</p> <p>★(1) 「大田区観光情報センター」の認知度【P11】</p> <p>(2) 区内での過ごし方</p> <p>(3) 観光の視点からみた大田区への愛着、誇り、他者への推奨</p> <p>★(4) 観光の視点からみた大田区の強み【P11】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>《基本目標3 地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち》</p> </div> <p>12. 地域力の土台づくり</p> <p>★(1) 参加したことのある地域活動【P12】</p> <p>13. 地域文化の創造とふれあいづくり</p> <p>★(1) 大田区が文化・芸術を振興することで期待すること【P13】</p> <p>14. 災害に強いまちづくり</p> <p>★(1) 大震災発生時に不安だと思ふもの【P14】</p> <p>★(2) 震災対策の実施状況【P15】</p> <p>(3) 防災訓練に参加していない理由</p> <p>★(4) 災害情報の入手手段【P16】</p> <p>15. 防犯に強いまちづくり</p> <p>★(1) 力を入れてほしい防犯施策【P17】</p> <p>16. 地球環境</p> <p>★(1) 地球温暖化防止への関心度【P18】</p> <p>(2) 家庭で取り組んでいる省エネ行動</p> <p>17. 区政への関心と要望</p> <p>★(1) 大田区等の制度・施策・施設の認知度【P19】</p> <p>★(2) 区の情報を知るために利用する媒体【P20】</p> <p>★(3) 区の情報公開【P20】</p> <p>★(4) 施策要望【P21】</p>
--	---

1. 定住性

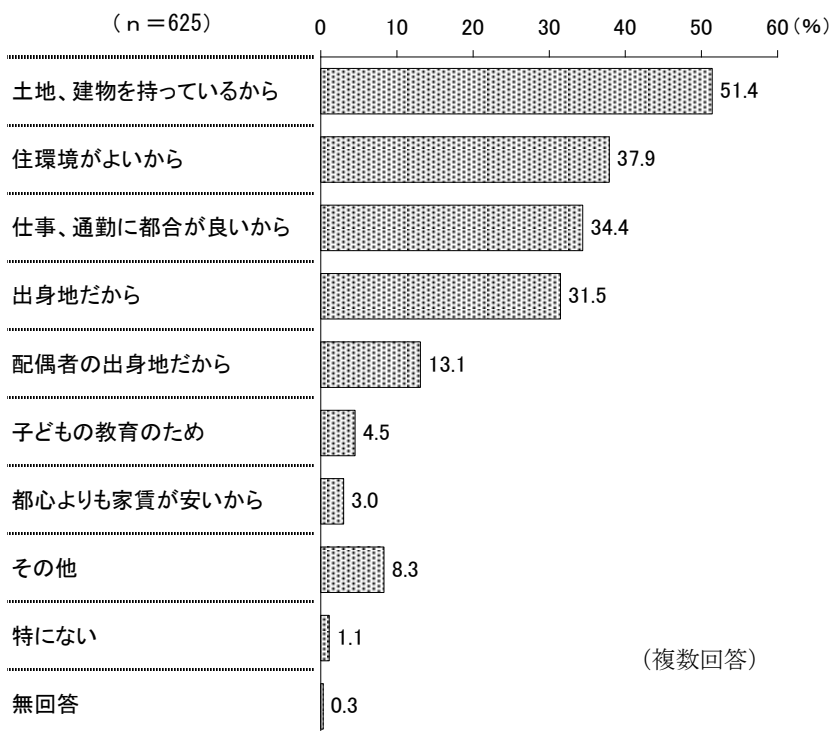
■ 定住意向・・・『定住意向（計）』は8割を超える

定住意向を聞いたところ、「ずっと住みたい」（58.1%）が6割近くで最も高く、これに「当分は住みたい」（25.3%）を合わせた『定住意向（計）』（83.4%）は8割を超えている。一方、「できれば大田区外へ移りたい」（4.9%）と「大田区外へ移りたい」（1.7%）を合わせた『転出意向（計）』（6.6%）は1割未満となっている。



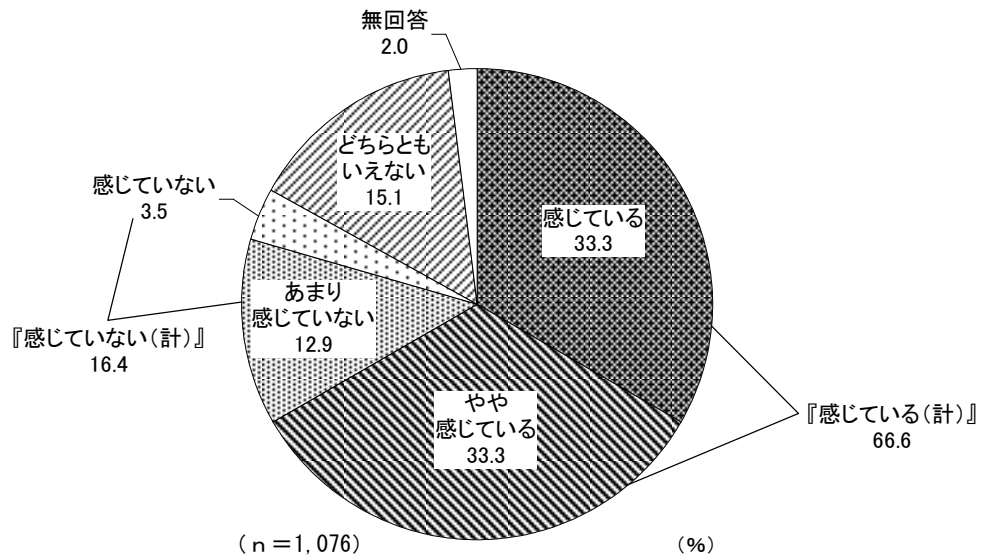
■ ずっと住みたい理由・・・「土地、建物を持っているから」が5割を超える

これからも大田区に「ずっと住みたい」と答えた人（625人）に、その理由を聞いたところ、「土地、建物を持っているから」（51.4%）が5割を超えて最も高く、次いで「住環境がよいから」（37.9%）、「仕事、通勤に都合が良いから」（34.4%）、「出身地だから」（31.5%）、「配偶者の出身地だから」（13.1%）などの順になっている。



■住んでいるまちが魅力的か・・・『感じている(計)』は7割近く

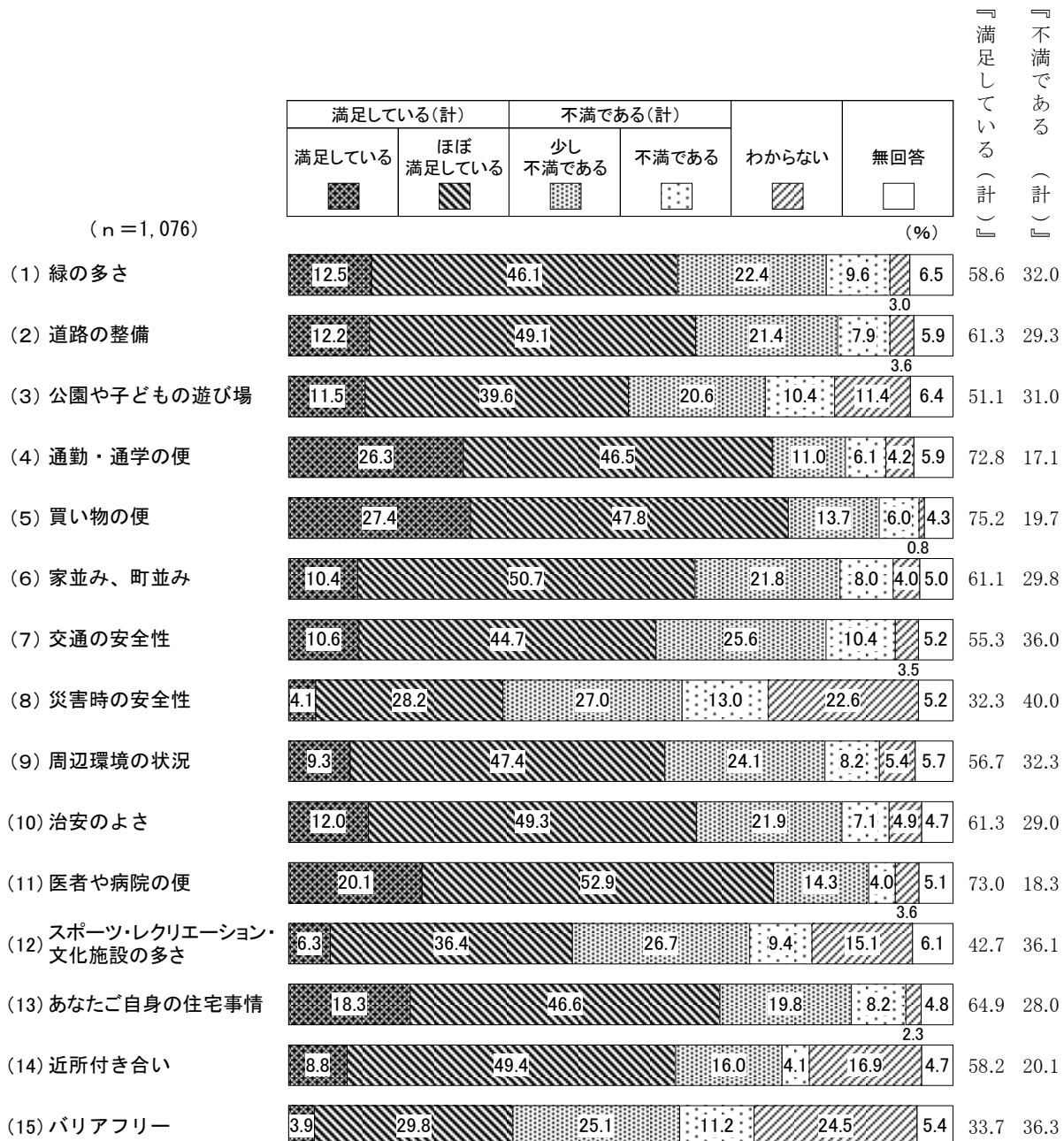
住んでいるまちが魅力的であると感じているか聞いたところ、「感じている」(33.3%)と「やや感じている」(33.3%)を合わせた『感じている(計)』(66.6%)は7割近くとなっている。一方、「あまり感じていない」(12.9%)と「感じていない」(3.5%)を合わせた『感じていない(計)』(16.4%)は1割半ばとなっている。



2. 暮らしやすさ

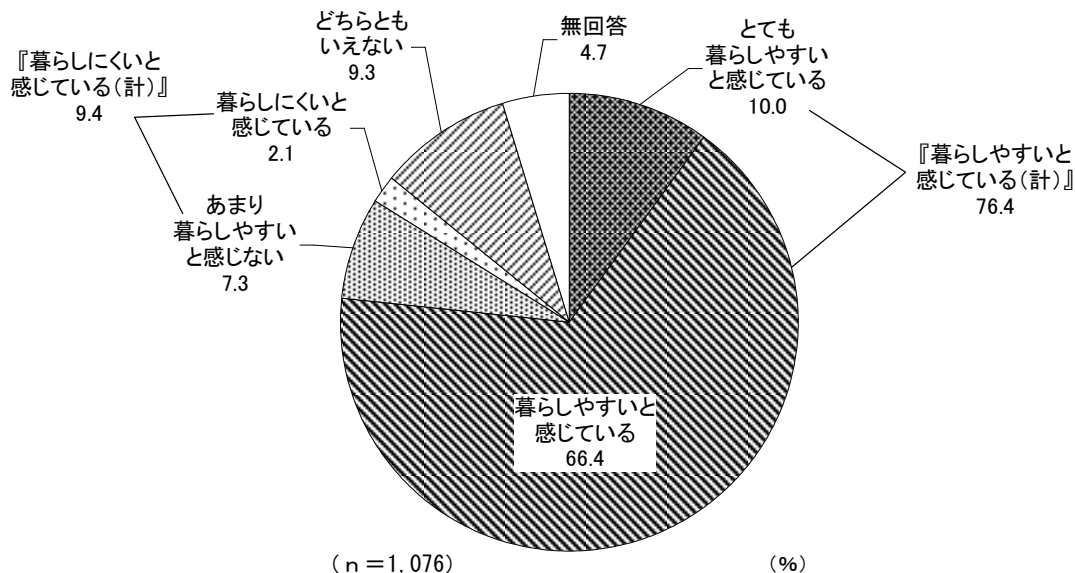
■生活環境の満足度・・・『満足している（計）』は“買い物の便”、“医者や病院の便”、“通勤・通学の便”で7割台

住んでいるまちの生活環境について聞いたところ、「満足している」と「ほぼ満足している」を合わせた『満足している（計）』は「買い物の便」（75.2%）、「医者や病院の便」（73.0%）、「通勤・通学の便」（72.8%）の3項目で7割台と高くなっている。一方、「少し不満である」と「不満である」を合わせた『不満である（計）』は「災害時の安全性」（40.0%）で4割と最も高く、次いで「バリアフリー」（36.3%）などの順になっている。



■住んでいるまちの暮らしやすさ・・・『暮らしやすいと感じている（計）』は7割半ば

現在住んでいるまちの暮らしやすさについて聞いたところ、「暮らしやすいと感じている」（66.4%）が6割半ばで最も高く、これに「とても暮らしやすいと感じている」（10.0%）を合わせた『暮らしやすいと感じている（計）』（76.4%）は7割半ばとなっている。一方、「あまり暮らしやすいと感じない」（7.3%）と「暮らしにくいと感じている」（2.1%）を合わせた『暮らしにくいと感じている（計）』（9.4%）は約1割となっている。



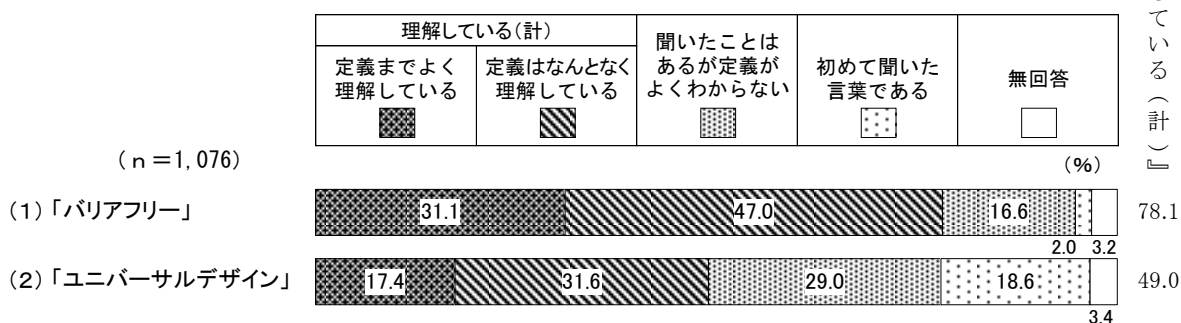
《基本目標1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち》
3. バリアフリー・ユニバーサルデザイン

■「バリアフリー」、「ユニバーサルデザイン」の認知度

・・・『理解している（計）』は「バリアフリー」が8割近く、
『ユニバーサルデザイン』が約5割

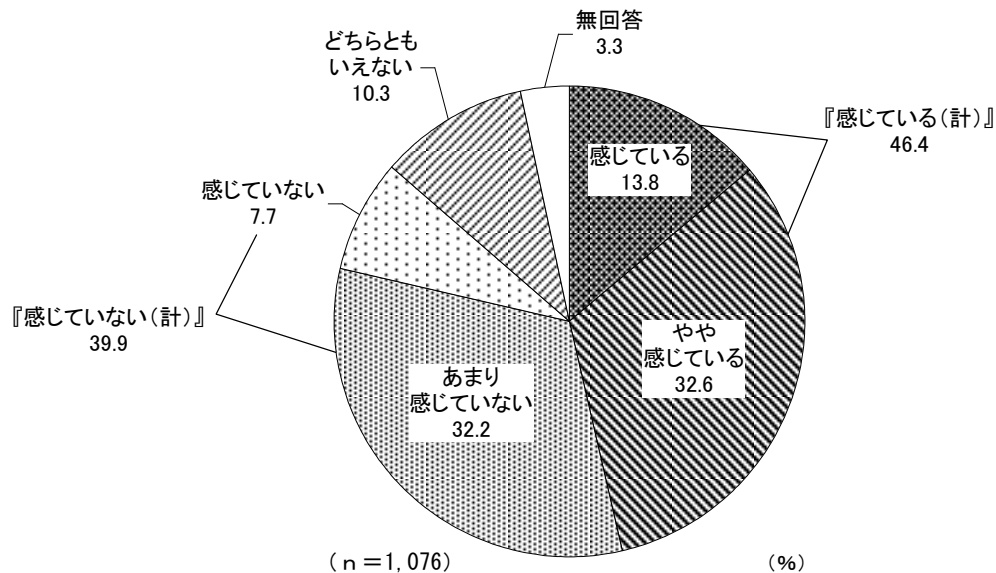
「バリアフリー」という言葉を知っているか聞いたところ、「定義はなんとなく理解している」（47.0%）が5割近くで最も高く、これに「定義までよく理解している」（31.1%）を合わせた『理解している（計）』（78.1%）は8割近くとなっている。

「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っているか聞いたところ、「定義はなんとなく理解している」（31.6%）が3割を超えて最も高く、これに「定義までよく理解している」（17.4%）を合わせた『理解している（計）』（49.0%）は約5割となっている。



■ 駅周辺のバリアフリー化・・・『感じている(計)』は4割半ば

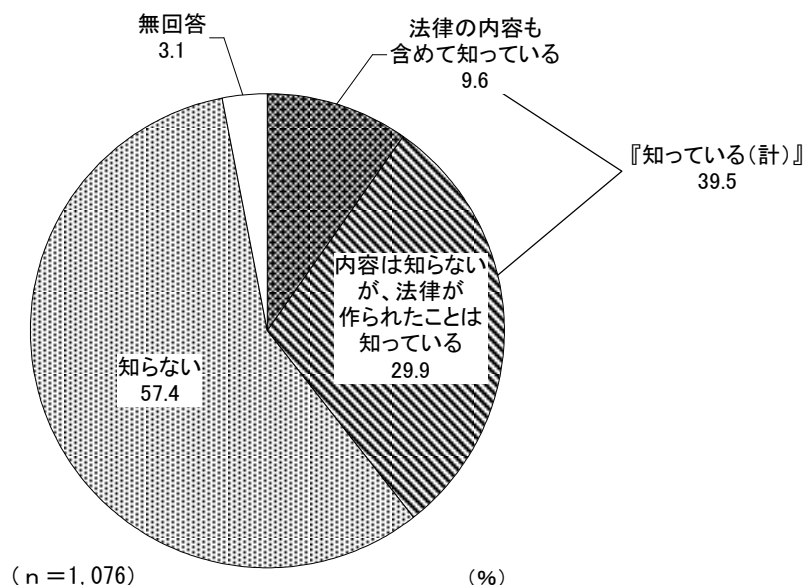
駅周辺のバリアフリー化が進んだと感じているか聞いたところ、「感じている」(13.8%)と「やや感じている」(32.6%)を合わせた『感じている(計)』(46.4%)は4割半ばとなっている。一方、「あまり感じていない」(32.2%)と「感じていない」(7.7%)を合わせた『感じていない(計)』(39.9%)は4割となっている。



4. 障がい者が地域で安心して暮らせるまち

■ 「障害者差別解消法」の認知度・・・『知っている(計)』は4割

「障害者差別解消法」を知っているか聞いたところ、「法律の内容も含めて知っている」(9.6%)と「内容は知らないが、法律が作られたことは知っている」(29.9%)を合わせた『知っている(計)』(39.5%)は4割となっている。一方、「知らない」(57.4%)は6割近くとなっている。

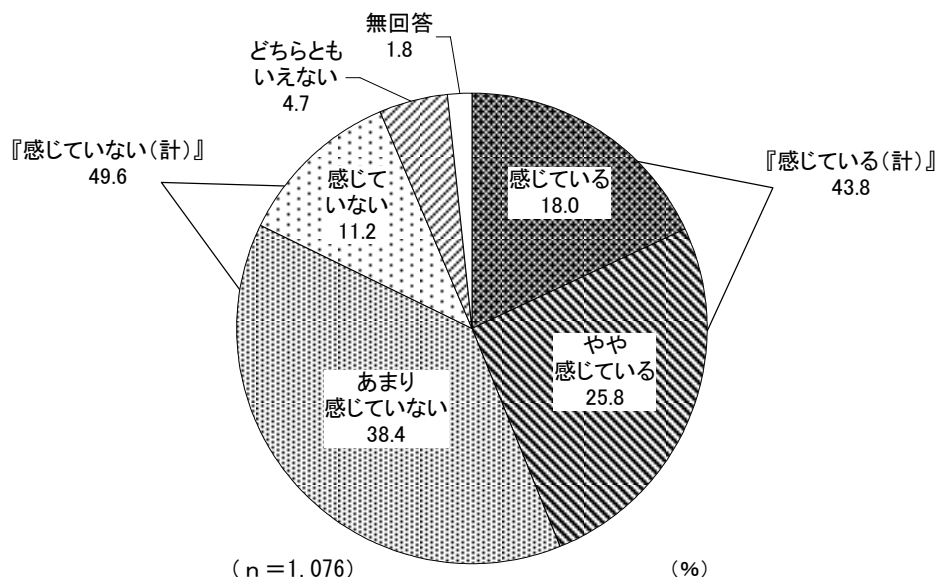


5. スポーツを通じて健康で豊かに暮らせるまち

■東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会が身近になってきたと感じているか

・・・『感じている(計)』は4割を超える

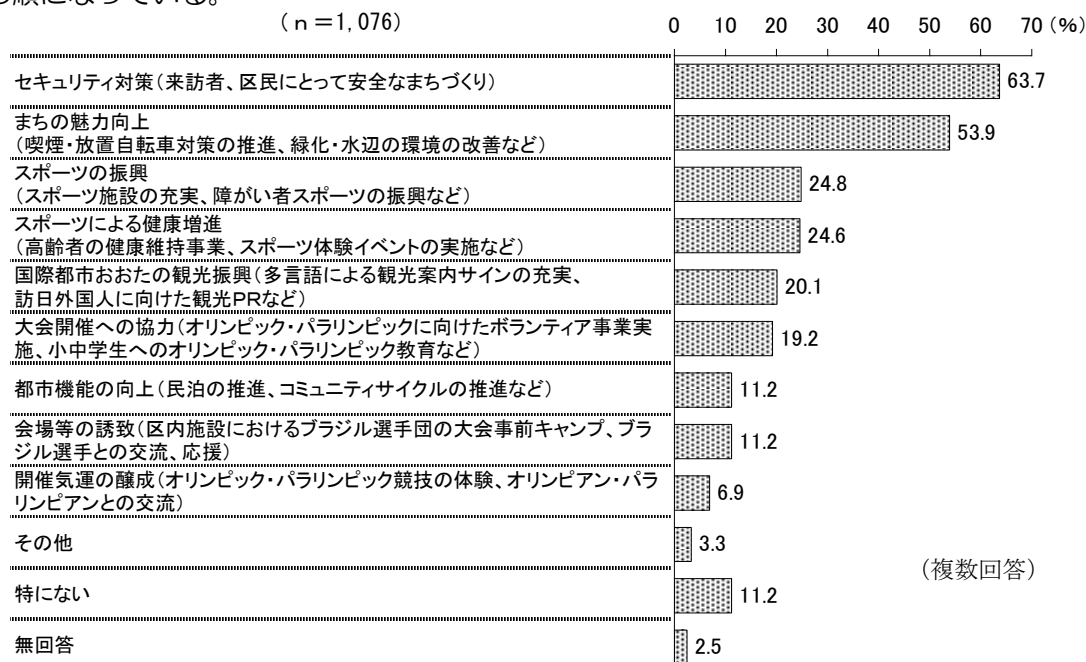
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が身近になってきたと感じているか聞いたところ、「感じている」(18.0%)と「やや感じている」(25.8%)を合わせた『感じている(計)』(43.8%)は4割を超えている。一方、「あまり感じていない」(38.4%)と「感じていない」(11.2%)を合わせた『感じていない(計)』(49.6%)は5割となっている。



■東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて区に期待する取組

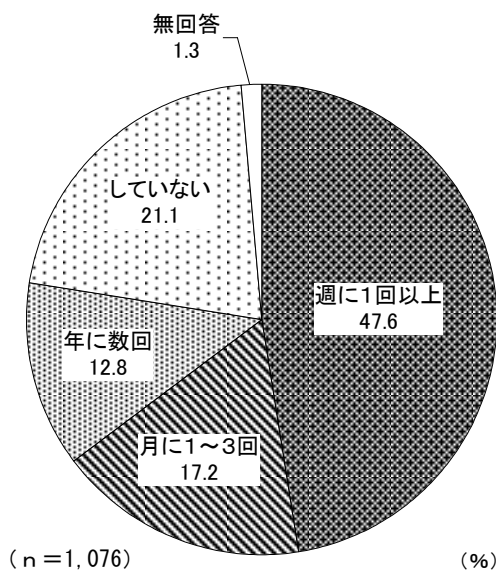
・・・『セキュリティ対策(来訪者、区民にとって安全なまちづくり)』が6割を超える

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、大田区に期待する取組を聞いたところ、「セキュリティ対策(来訪者、区民にとって安全なまちづくり)」(63.7%)が6割を超えて最も高く、次いで「まちの魅力向上(喫煙・放置自転車対策の推進、緑化・水辺の環境の改善など)」(53.9%)、「スポーツの振興(スポーツ施設の充実、障がい者スポーツの振興など)」(24.8%)、「スポーツによる健康増進(高齢者の健康維持事業、スポーツ体験イベントの実施など)」(24.6%)などの順になっている。



■この1年間の運動・スポーツ活動の頻度・・・「週に1回以上」が5割近く

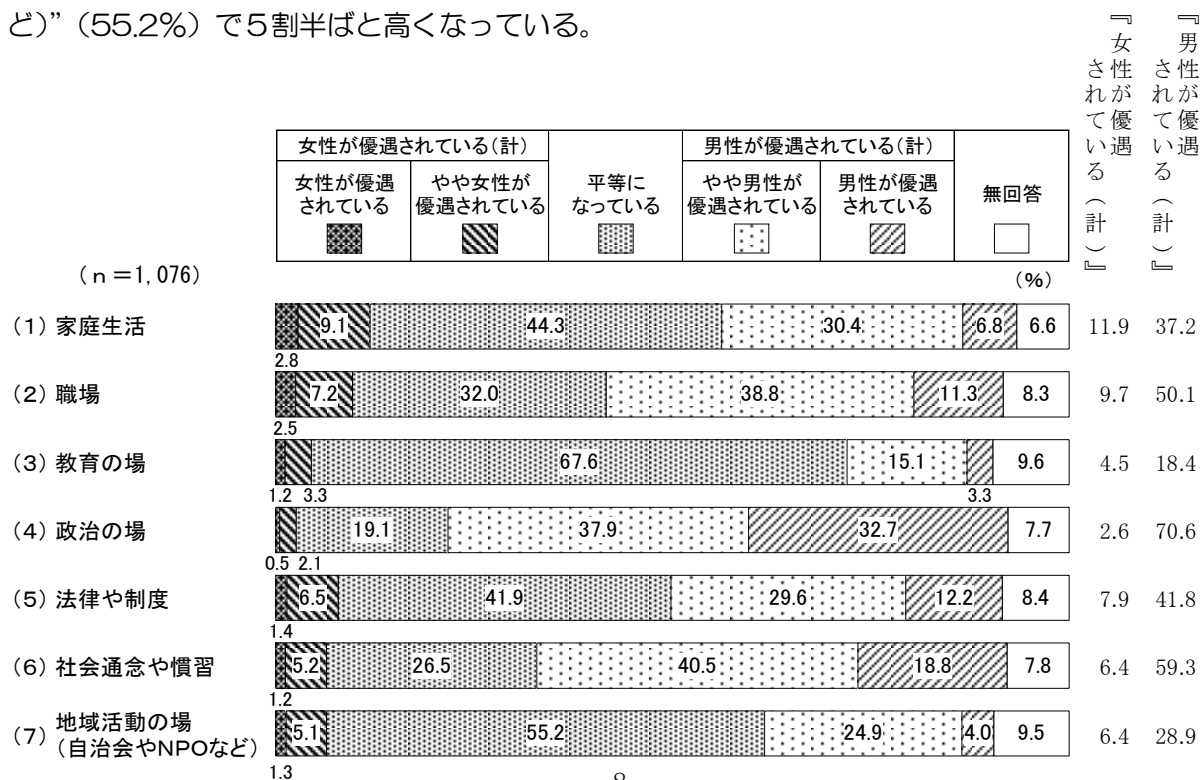
この1年間の運動・スポーツ活動の頻度を聞いたところ、「週に1回以上」（47.6%）が5割近くで最も高く、「月に1～3回」（17.2%）は2割近く、「年に数回」（12.8%）は1割を超えている。一方、「していない」（21.1%）は2割を超えている。



6. 安定した暮らしと人権

■男女の地位平等・・・『女性が優遇されている（計）』は“家庭生活”で1割を超える
 「平等になっている」は“教育の場”で7割近く
 『男性が優遇されている（計）』は“政治の場”で約7割

男女の地位について聞いたところ、「女性が優遇されている」と「やや女性が優遇されている」を合わせた『女性が優遇されている（計）』は“家庭生活”（11.9%）で1割を超えている。一方、「やや男性が優遇されている」と「男性が優遇されている」を合わせた『男性が優遇されている（計）』は“政治の場”（70.6%）で約7割、“社会通念や慣習”（59.3%）で約6割と高くなっている。また、「平等になっている」は“教育の場”（67.6%）で7割近く、“地域活動の場（自治会やNPOなど）”（55.2%）で5割半ばと高くなっている。

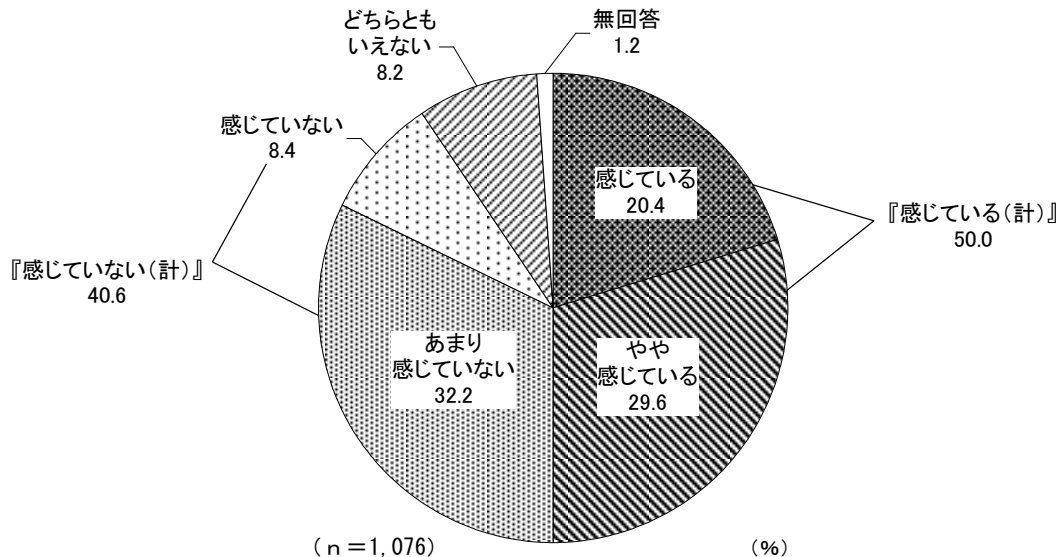


《基本目標2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市》

7. 潤いとやすらぎのあるまち

■身近な場所で水や緑に親しめると感じているか・・・『感じている(計)』は5割

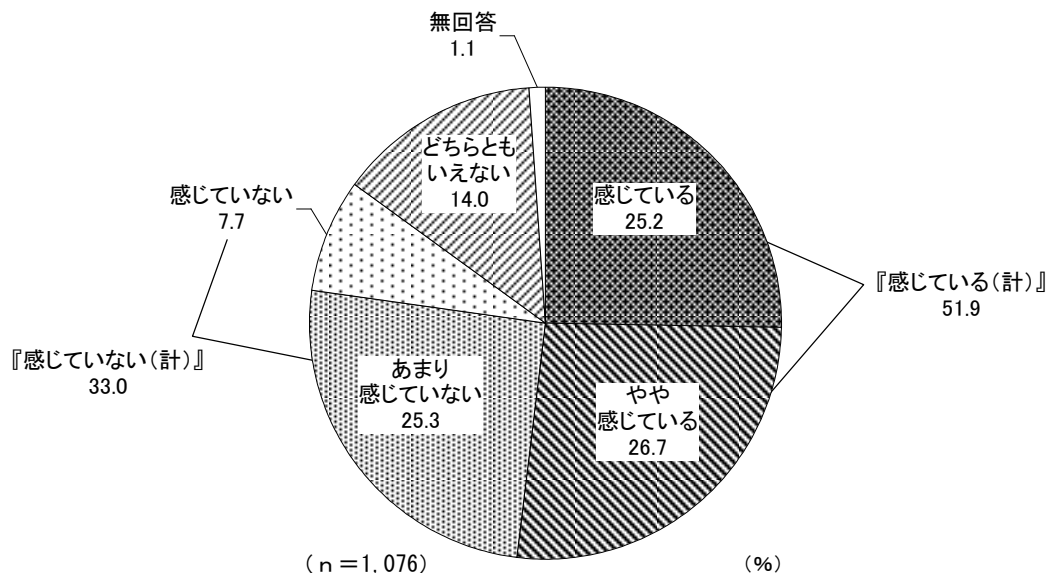
身近な場所で水や緑に親しめると感じているか聞いたところ、「感じている」(20.4%)と「やや感じている」(29.6%)を合わせた『感じている(計)』(50.0%)は5割となっている。一方、「あまり感じていない」(32.2%)と「感じていない」(8.4%)を合わせた『感じていない(計)』(40.6%)は約4割となっている。



8. 世界へ羽ばたくまち

■羽田空港及び羽田空港跡地の地域経済活性化への貢献度・・・『感じている(計)』は5割を超える

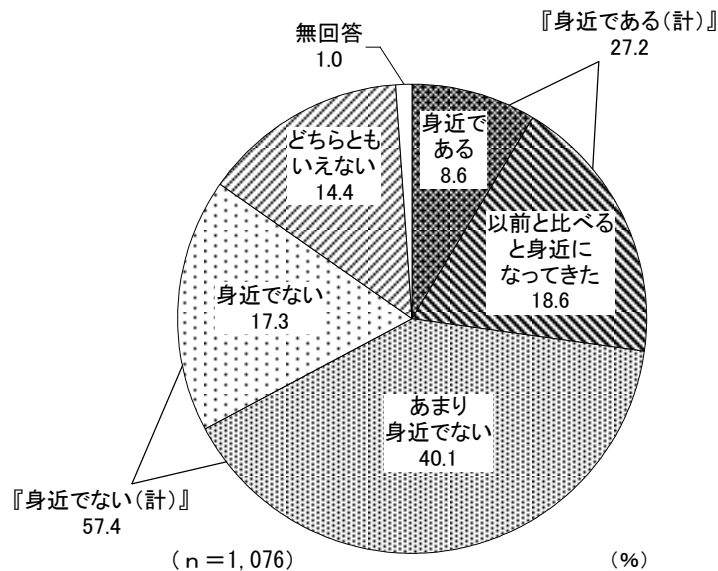
羽田空港及び羽田空港跡地が、地域経済の活性化に貢献すると感じているか聞いたところ、「感じている」(25.2%)と「やや感じている」(26.7%)を合わせた『感じている(計)』(51.9%)は5割を超えている。一方、「あまり感じていない」(25.3%)と「感じていない」(7.7%)を合わせた『感じていない(計)』(33.0%)は3割を超えている。



9. 未来につながる空港臨海部

■ 空港臨海部が身近なまちとなってきているか・・・『身近である(計)』は3割近く

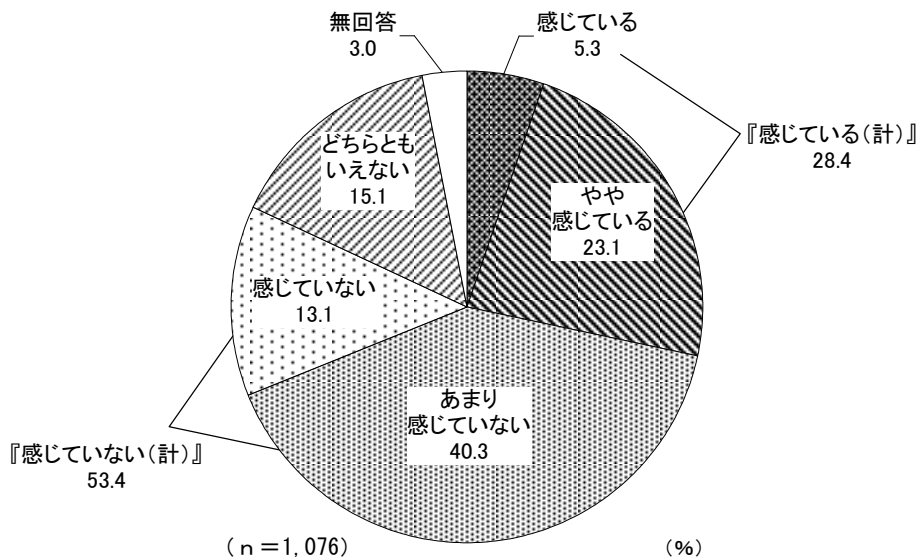
埋立地の空港臨海部が身近なまちとなってきたか聞いたところ、「身近である」(8.6%)と「以前と比べると身近になってきた」(18.6%)を合わせた『身近である(計)』(27.2%)は3割近くとなっている。一方、「あまり身近でない」(40.1%)と「身近でない」(17.3%)を合わせた『身近でない(計)』(57.4%)は6割近くとなっている。



10. 国際交流

■ 大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているか・・・『感じている(計)』は3割近く

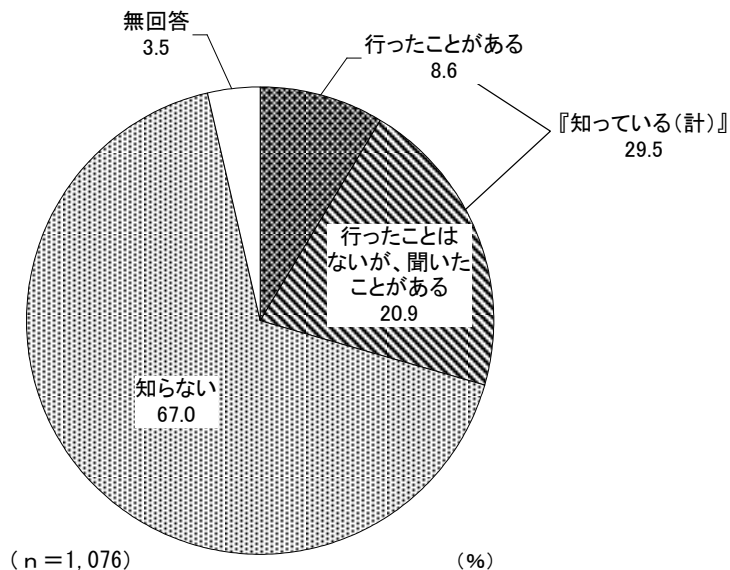
大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているか聞いたところ、「感じている」(5.3%)と「やや感じている」(23.1%)を合わせた『感じている(計)』(28.4%)は3割近くとなっている。一方、「あまり感じていない」(40.3%)と「感じていない」(13.1%)を合わせた『感じていない(計)』(53.4%)は5割を超えている。



11. 大田区の観光

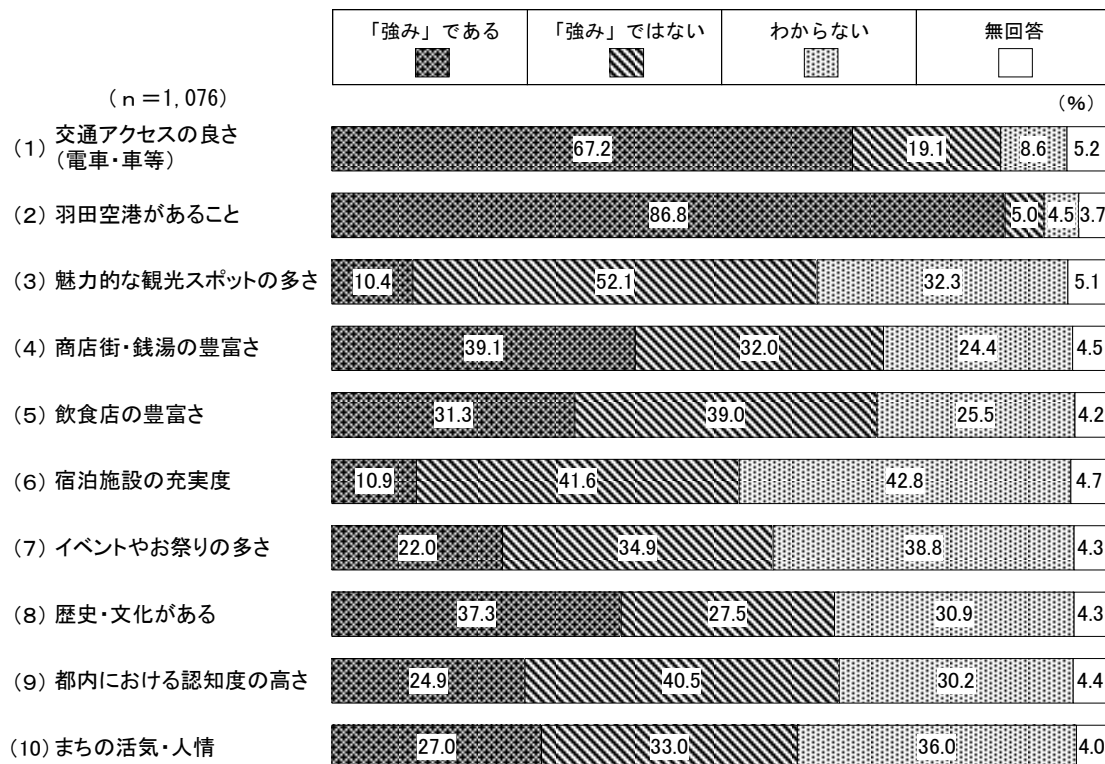
■「大田区観光情報センター」の認知度・・・『知っている(計)』は3割

「大田区観光情報センター」を知っているか聞いたところ、「行ったことがある」(8.6%)と「行ったことはないが、聞いたことがある」(20.9%)を合わせた『知っている(計)』(29.5%)は3割となっている。一方、「知らない」(67.0%)は7割近くとなっている。



■観光の視点からみた大田区の強み・・・『強み』は“羽田空港があること”で9割近く

観光の視点から東京の他区と比較して大田区の強みについて聞いたところ、「『強み』である」は“羽田空港があること”(86.8%)で9割近く、“交通アクセスの良さ(電車・車等)”(67.2%)で7割近くと高くなっている。一方、「『強み』ではない」は“魅力的な観光スポットの多さ”(52.1%)で5割を超え、“宿泊施設の充実度”(41.6%)で4割を超えて高くなっている。

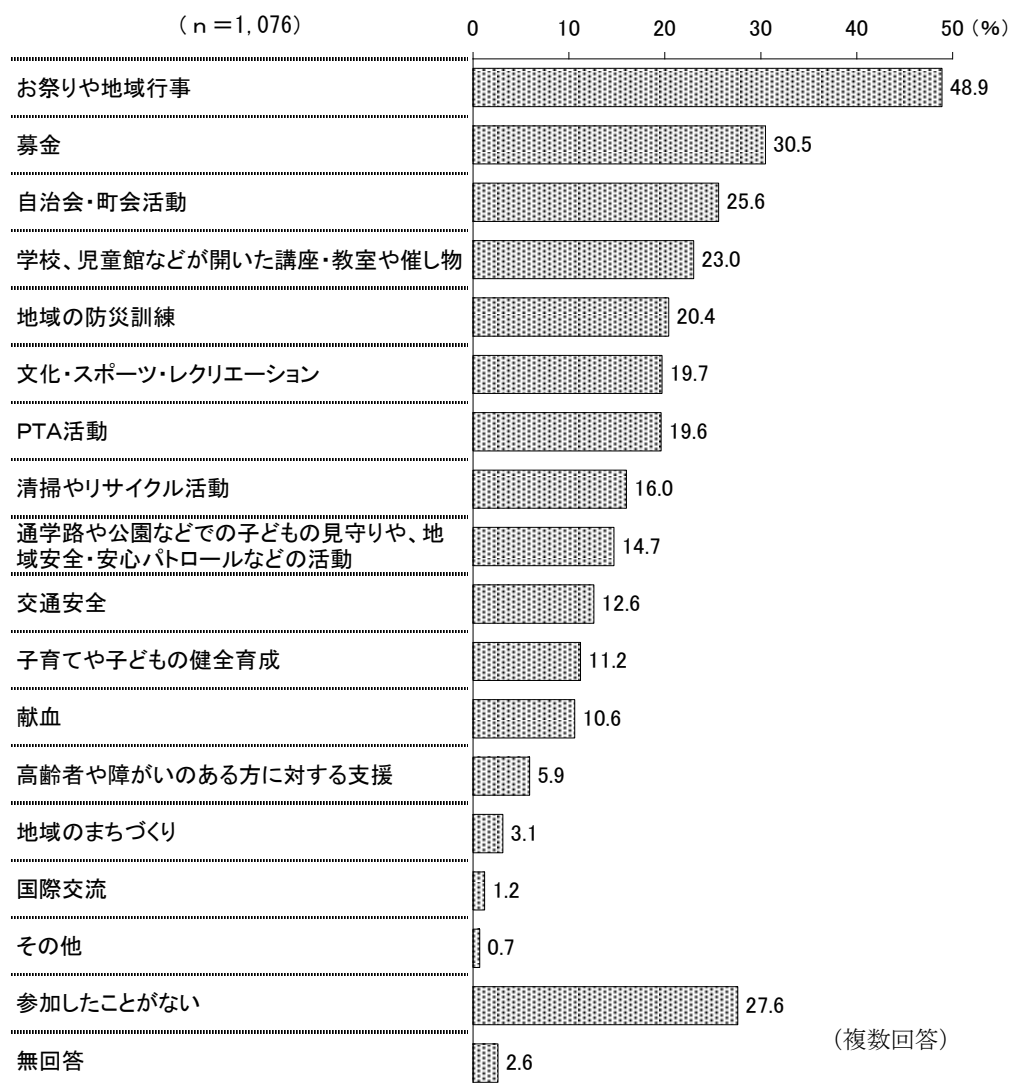


《基本目標3 地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち》

12. 地域力の土台づくり

■ 参加したことがある地域活動・・・「お祭りや地域行事」が5割近く

区内の地域活動に参加したことがあるか聞いたところ、「お祭りや地域行事」（48.9％）が5割近くで最も高く、次いで「募金」（30.5％）、「自治会・町会活動」（25.6％）、「学校、児童館などが開いた講座・教室や催し物」（23.0％）、「地域の防災訓練」（20.4％）などの順になっている。一方、「参加したことがない」（27.6％）は3割近くとなっている。

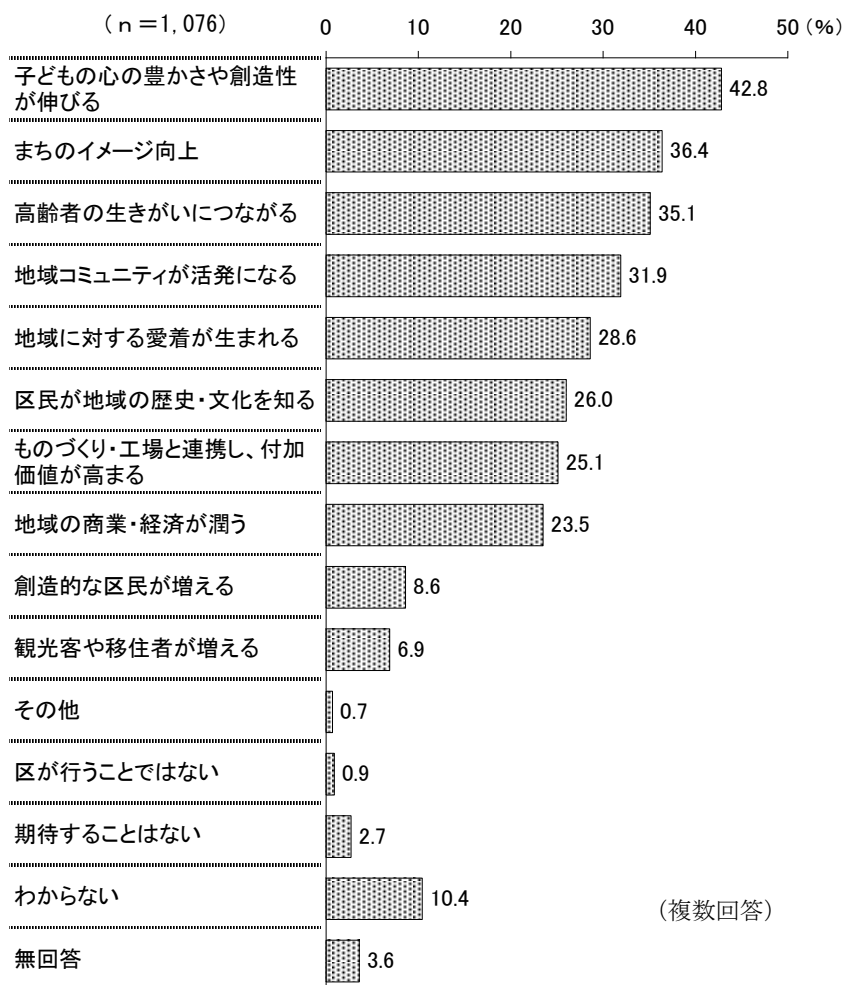


13. 地域文化の創造とふれあいづくり

■大田区が文化・芸術を振興することで期待すること

・・・「子どもの心の豊かさや創造性が伸びる」が4割を超える

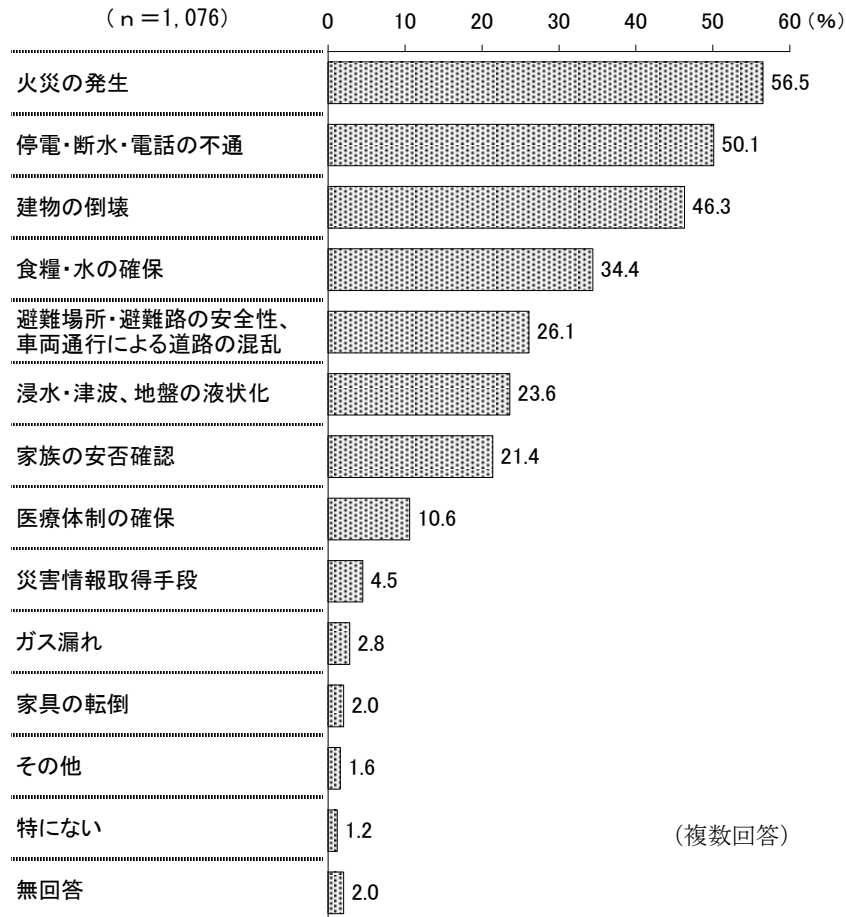
大田区が文化・芸術を振興することで期待することを聞いたところ、「子どもの心の豊かさや創造性が伸びる」(42.8%)が4割を超えて最も高く、次いで「まちのイメージ向上」(36.4%)、「高齢者の生きがいにつながる」(35.1%)、「地域コミュニティが活発になる」(31.9%)などの順になっている。



14. 災害に強いまちづくり

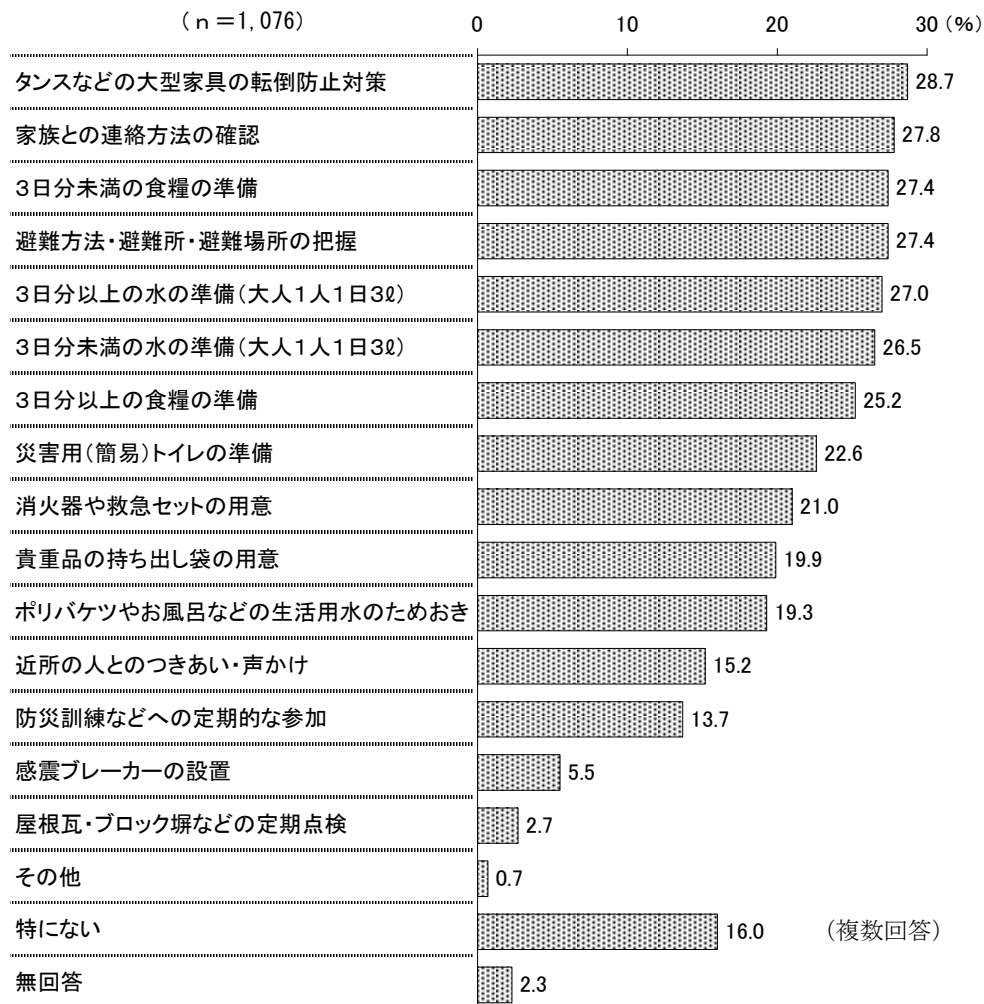
■大震災発生時に不安だと思うもの・・・「火災の発生」が6割近く

東京に大震災が発生した場合、特に不安だと思うものを聞いたところ、「火災の発生」(56.5%)が6割近くで最も高く、次いで「停電・断水・電話の不通」(50.1%)、「建物の倒壊」(46.3%)、「食糧・水の確保」(34.4%)などの順になっている。



■ 震災対策の実施状況・・・「タンスなどの大型家具の転倒防止対策」が3割近く

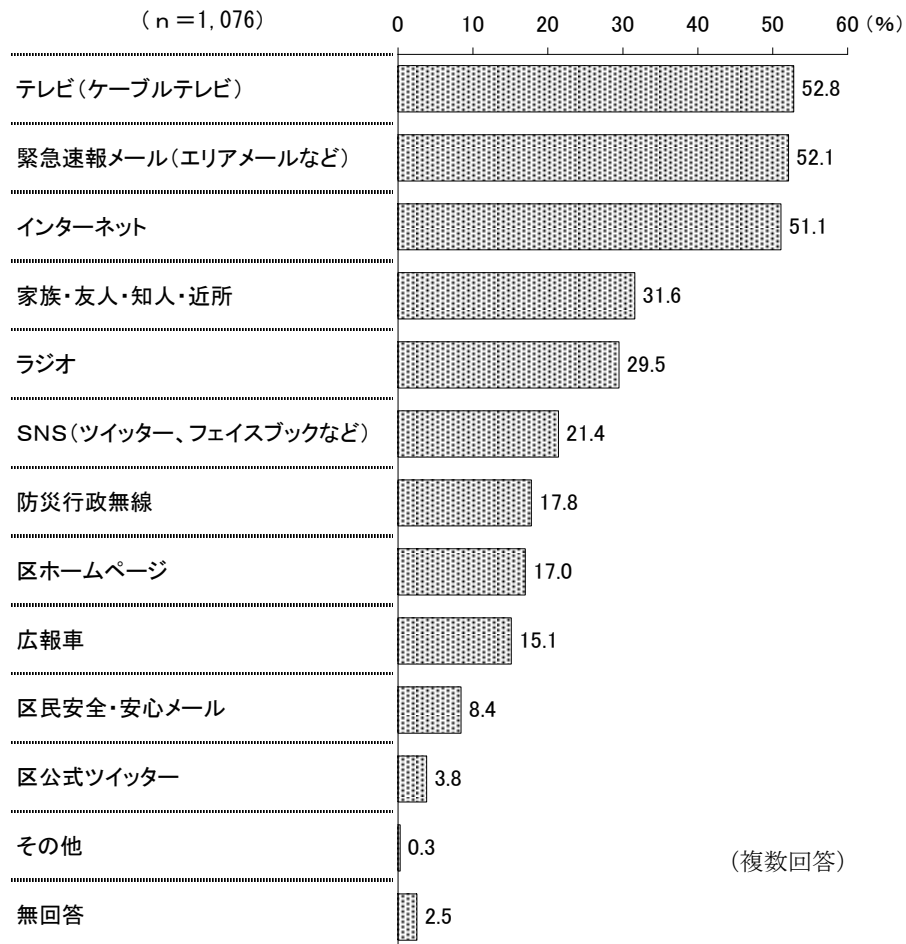
大地震に備えて普段から行っていることを聞いたところ、「タンスなどの大型家具の転倒防止対策」(28.7%)が3割近くで最も高く、次いで「家族との連絡方法の確認」(27.8%)、「3日分未満の食糧の準備」と「避難方法・避難所・避難場所の把握」(ともに27.4%)などの順になっている。



■災害情報の入手手段

・・・「テレビ（ケーブルテレビ）」、「緊急速報メール（エリアメールなど）」、
「インターネット」が5割を超える

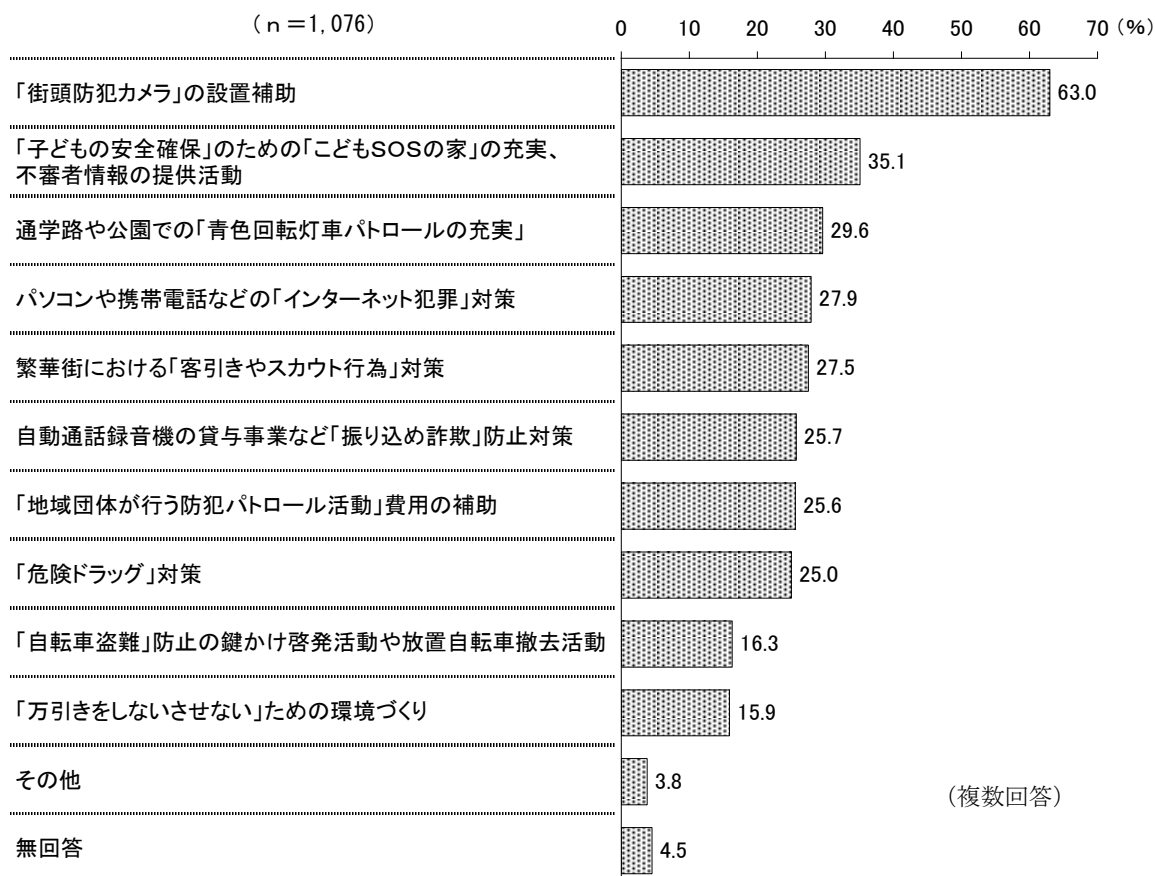
災害情報の入手手段を聞いたところ、「テレビ（ケーブルテレビ）」（52.8%）、「緊急速報メール（エリアメールなど）」（52.1%）、「インターネット」（51.1%）が5割を超えて高く、次いで「家族・友人・知人・近所」（31.6%）、「ラジオ」（29.5%）などの順になっている。



15. 防犯に強いまちづくり

■力を入れてほしい防犯施策・・・『街頭防犯カメラ』の設置補助』が6割を超える

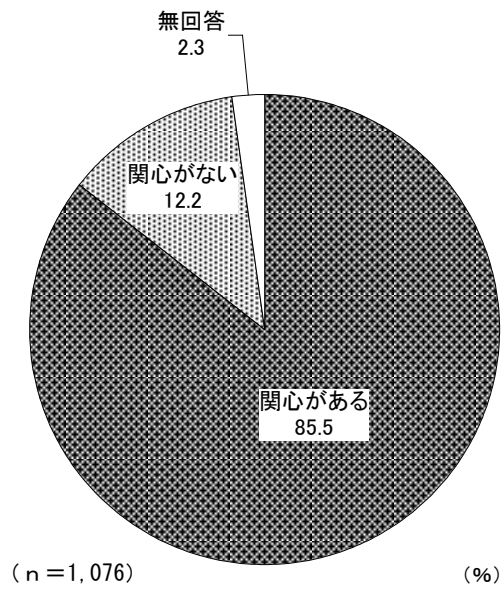
犯罪被害に遭わないようにするための防犯施策として、区が今後、力を入れてほしいことを聞いたところ、「『街頭防犯カメラ』の設置補助」（63.0％）が6割を超えて最も高く、次いで「『子どもの安全確保』のための『こどもSOSの家』の充実、不審者情報の提供活動」（35.1％）、「通学路や公園での『青色回転灯車パトロールの充実』」（29.6％）、「パソコンや携帯電話などの『インターネット犯罪』対策」（27.9％）、「繁華街における『客引きやスカウト行為』対策」（27.5％）などの順になっている。



16. 地球環境

■地球温暖化防止への関心度・・・「関心がある」が8割半ば

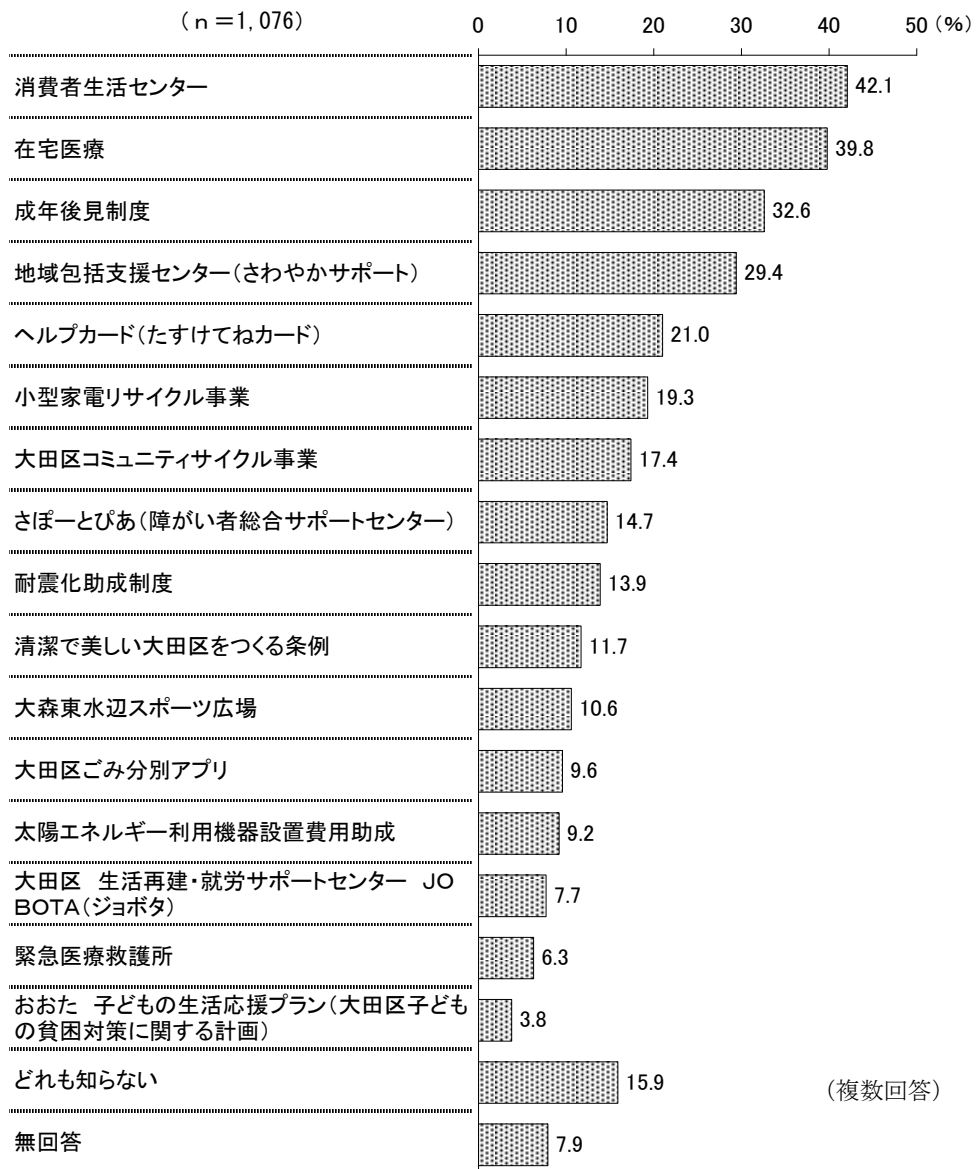
地球温暖化防止に関心があるか聞いたところ、「関心がある」（85.5%）が8割半ば、「関心がない」（12.2%）は1割を超えている。



17. 区政への関心と要望

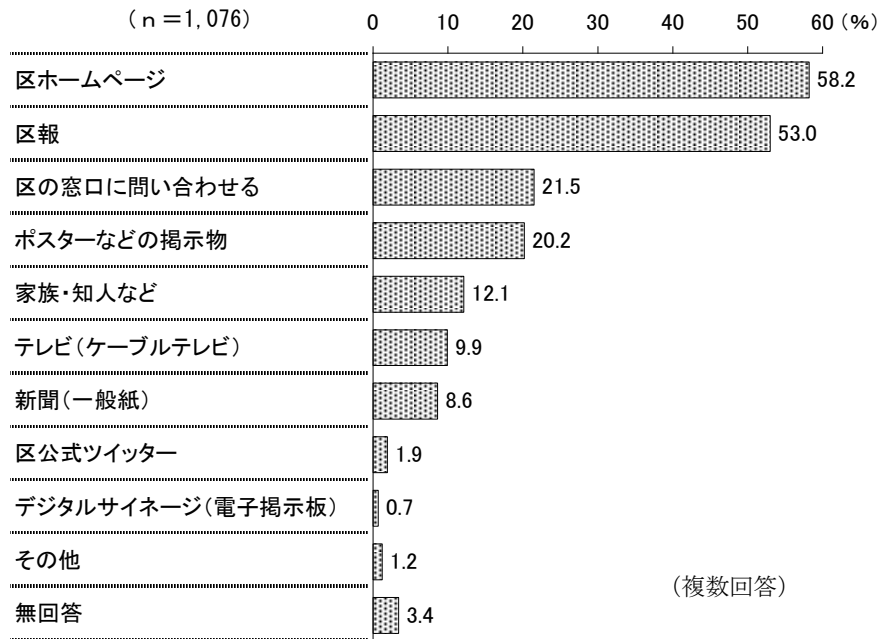
■大田区等の制度・施策・施設の認知度・・・「消費者生活センター」が4割を超える

区等の制度、施策、施設について知っているものを聞いたところ、「消費者生活センター」(42.1%)が4割を超えて最も高く、次いで「在宅医療」(39.8%)、「成年後見制度」(32.6%)、「地域包括支援センター(さわやかサポート)」(29.4%)、「ヘルプカード(たすけてねカード)」(21.0%)などの順になっている。



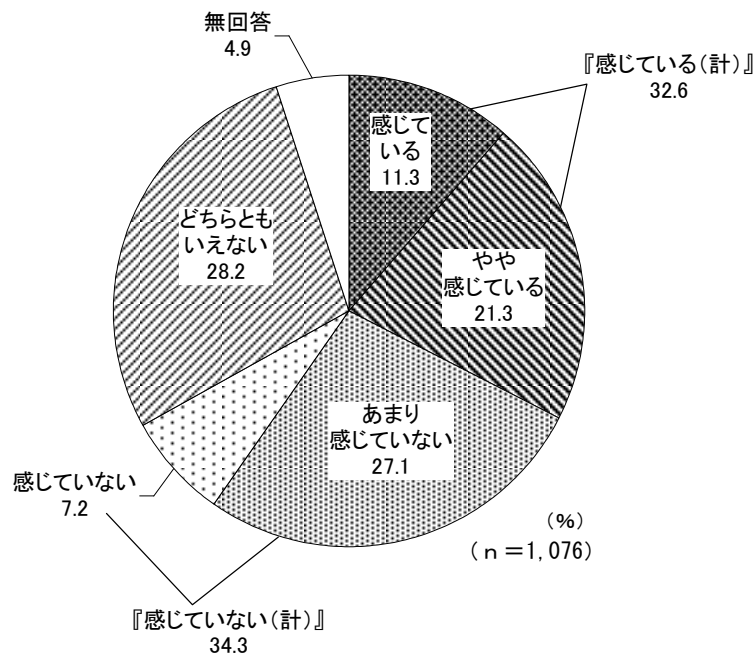
■ 区の情報を知るために利用する媒体・・・『区ホームページ』が6割近く

区の制度、施策、施設などの区の情報を知りたいとき、何を利用するか聞いたところ、「区ホームページ」(58.2%)が6割近くで最も高く、次いで「区報」(53.0%)、「区の窓口にお問い合わせる」(21.5%)、「ポスターなどの掲示物」(20.2%)、「家族・知人など」(12.1%)などの順になっている。



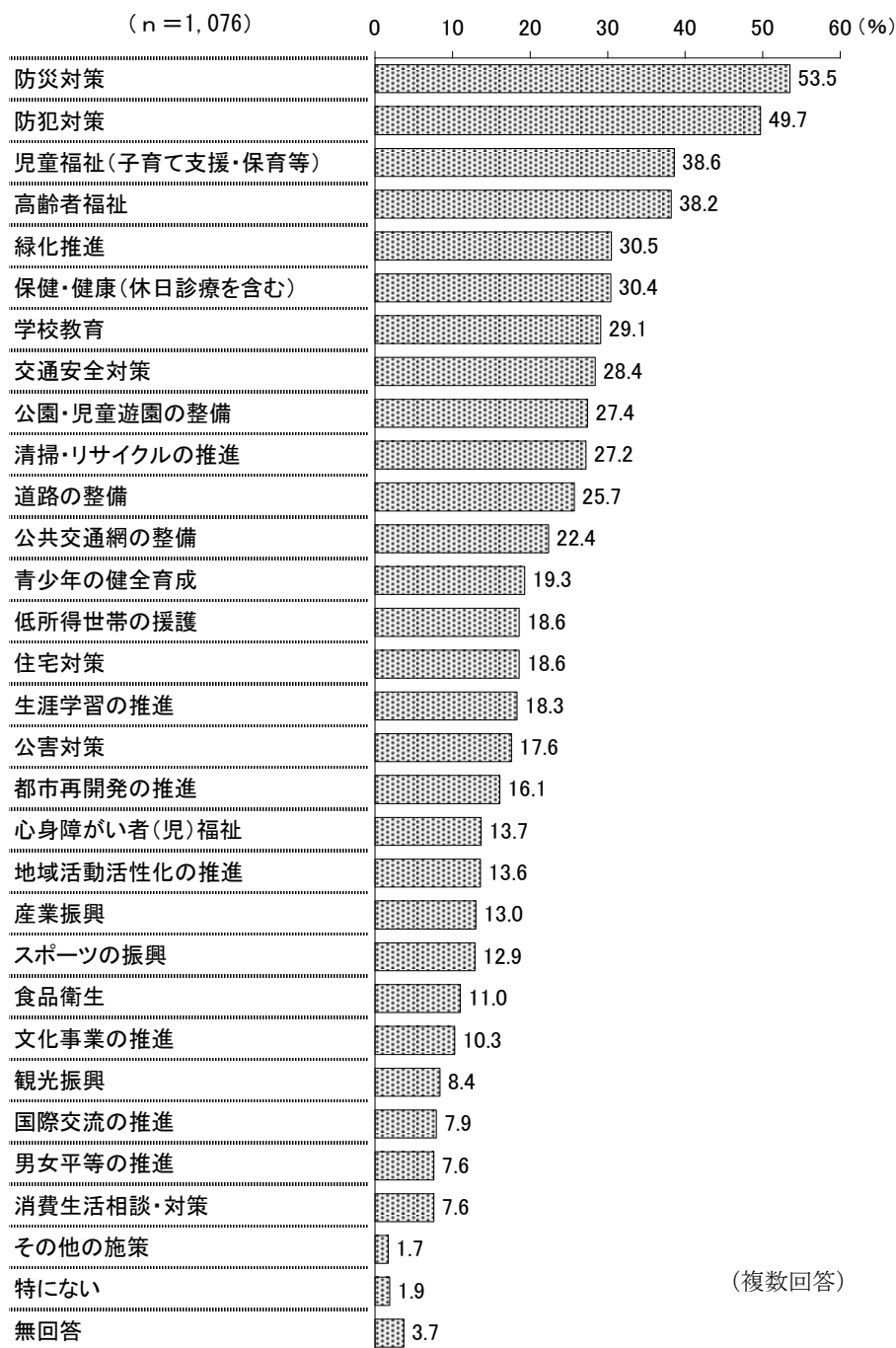
■ 区の情報公開・・・『感じている(計)』は3割を超える

区政情報が適切に公開されていると感じているか聞いたところ、「感じている」(11.3%)と「やや感じている」(21.3%)を合わせた『感じている(計)』(32.6%)は3割を超えている。一方、「あまり感じていない」(27.1%)と「感じていない」(7.2%)を合わせた『感じていない(計)』(34.3%)は3割半ばとなっている。また、「どちらともいえない」(28.2%)は3割近くとなっている。



■ 施策要望・・・「防災対策」が5割を超える

区の施策の中で、特に力を入れてほしいことを聞いたところ、「防災対策」(53.5%)が5割を超えて最も高く、次いで「防犯対策」(49.7%)、「児童福祉(子育て支援・保育等)」(38.6%)、「高齢者福祉」(38.2%)、「緑化推進」(30.5%)、「保健・健康(休日診療を含む)」(30.4%)などの順になっている。



大田区政に関する世論調査（概要版）

平成30年12月発行

発行 大田区 企画経営部 広聴広報課
東京都大田区蒲田五丁目13番14号
電話：03-5744-1135
FAX：03-5744-1504

